

『より良く生きるために』

(就職希望の方への参考資料)

2020年7月

医療法人社団涓泉会
山王リハビリ・クリニック

目次

I. 涓泉会の紹介

1. 理念「より良く生きるために」
2. 院長紹介
3. 医療・介護・予防
4. クリニック概要とアクセス

II. 外来リハビリテーション

1. 外来リハビリテーションの紹介
2. 外来リハビリテーションの疾患傾向
3. 外来リハビリテーションにおける年齢
4. 外来リハビリテーション職員構成
5. 治療の特色

III. 教育への取り組み

1. 臨床場面での教育
2. 研修会、勉強会
3. 法人内研修制度

IV. 職員の声

1. 当院に入職した理由
2. 当院での仕事のやりがい
3. 入職を希望される方へ
4. 一年目から外来勤務は心配という方へ
5. 外来リハスタッフ一日の流れ

V. 短時間通所リハビリテーション

1. 短時間通所リハビリテーションの紹介

VI. 訪問リハビリテーション

1. 訪問リハビリテーションの紹介

VII. その他

1. その他の活動

VIII. 関連施設

1. ジップ山王リハビリ
2. ウェルネスジム山王
3. 訪問看護ステーション
4. 山王リハビリステーション

1. 理念

「より良く生きるために」

その人がその人らしく、この地域で安心して健康的な生活を送れるように、当法人では「より良く生きるために」を基本理念に、リハビリテーション医学を基盤に医療や介護はもちろん、保健・福祉サービスを含めた様々な生活支援サービスを一体的に提供しています。



私達が一番大切にしていることは、
患者さまと一生お付き合いをしていくことです。
そして、ひとりひとりの患者さまの状態に応じた、
オーダーメイドのリハビリテーションを提供できるように
心がけております。
私たちは、日本一のリハビリテーション施設に向かって、
挑戦し続けていきます。

25th
Anniversary

(1995年開業)

山王リハビリ・クリニックは、
2020年6月に開院25周年を迎えました。

2. 院長紹介



院長・理事長 森英二（もり えいじ）

プロフィール

慶應義塾大学医学部を卒業。
慶應義塾大学病院、小田原市立病院、国立療養所東埼玉病院勤務。
平成7年に山王リハビリ・クリニックを設立。
スポーツリハビリ、在宅リハビリ医療を得意分野としている。

資格

日本リハビリテーション医学会リハビリテーション科専門医
日本体育協会公認スポーツドクター 医学博士
日本抗加齢医学会専門医
日本パラパワーリフティング連盟ドクター

3. 医療・介護・予防

「医療」×「介護」×「予防」

医療法人社団涓泉会（けんせんかい）では、医師の診療や外来リハビリテーションなどの医療保険サービスや、デイケア、デイサービス、訪問リハビリテーション、訪問看護などの介護保険サービスを提供しています。

また、予防医学にも積極的に取り組み、疾病予防を目的とする健康増進施設などのサービスを提供しております。



クリニックの診察



外来リハビリテーション
短時間通所リハビリテーション



訪問リハビリテーション
訪問看護



地域リハビリテーション
活動支援事業
生活リハビリ講座



機能訓練特化型
デイサービス



介護予防特化型
デイサービス



疾病予防型
メディカルフィットネスジム



学会・研修会活動

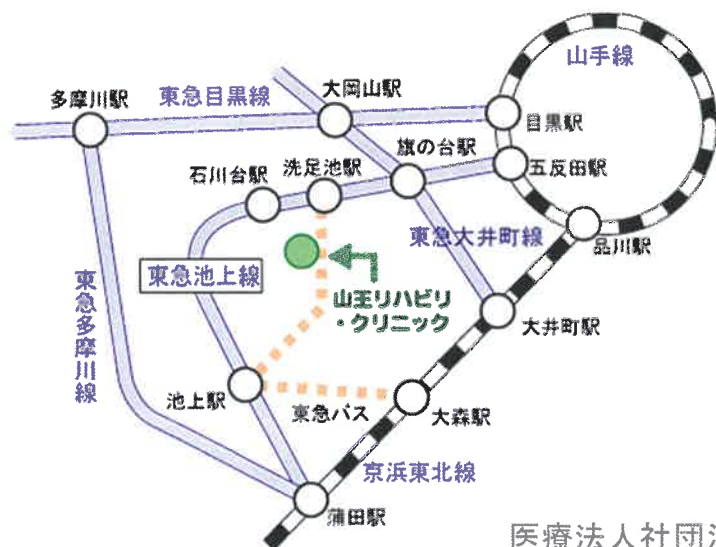
4. クリニック概要とアクセス



医療法人社団涓泉会 山王リハビリ・クリニック

整形外科 内科 在宅診療（訪問診療・訪問リハ・訪問看護）
リハビリテーション科
【機能強化型在宅療養支援診療所】

- ・脳血管疾患等リハビリテーション施設基準Ⅰ
- ・運動器疾患リハビリテーション施設基準Ⅰ
- ・通所リハビリテーション 1時間～2時間型
- ・訪問リハビリテーション
- ・疾病予防型健康増進施設「ウェルネスジム山王」併設



アクセス

東急池上線「石川台」から徒歩9分
または「洗足池」から徒歩9分
（洗足池から五反田駅まで10分）

Ⅱ. リハビリテーション

1. 外来リハビリテーション 概要



施設基準

脳血管疾患等リハビリテーションⅠ
運動器疾患リハビリテーションⅠ

職員数

リハビリテーション科医 3名
理学療法士 10名（兼務含）
作業療法士 3名
言語聴覚士 3名（兼務含）

来院患者数

約60名／日

外来リハビリの特色とその役割

脳血管疾患等リハビリテーションおよび運動器リハビリテーションの機能・設備の充実した、地域密着型のリハビリテーション専門クリニックです。

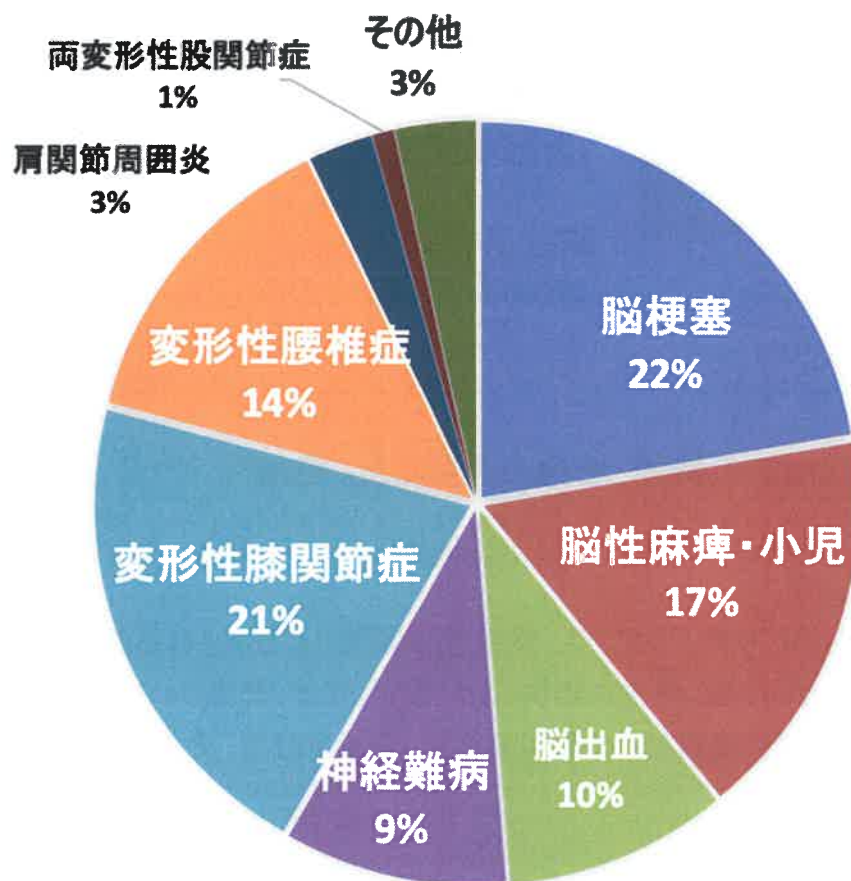
主に回復期や生活期におけるリハビリテーションを提供しております。

近隣の医療機関との連携を図り、退院後に必要とされる機能回復のリハビリテーションや、実生活の場面で必要とされる日常生活動作の獲得、QOLの向上、社会復帰や職業復帰を目的とするリハビリテーションを主に提供しています。また、訪問リハビリテーションのセラピストやケアマネジャー、家族との調整を図り、住宅環境や福祉機器などの利用の提案、生活を調整、介助方法など、ご家族への指導も行います。

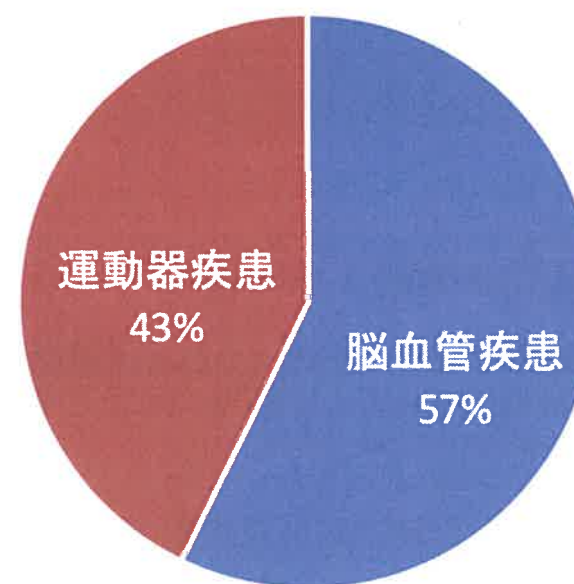
2. 外来リハビリテーションにおける患者データ（疾患）

脳血管疾患を中心に、小児疾患、神経難病、小児疾患など多種多様な疾患に対するリハビリテーションを実施しています。

主な対象疾患



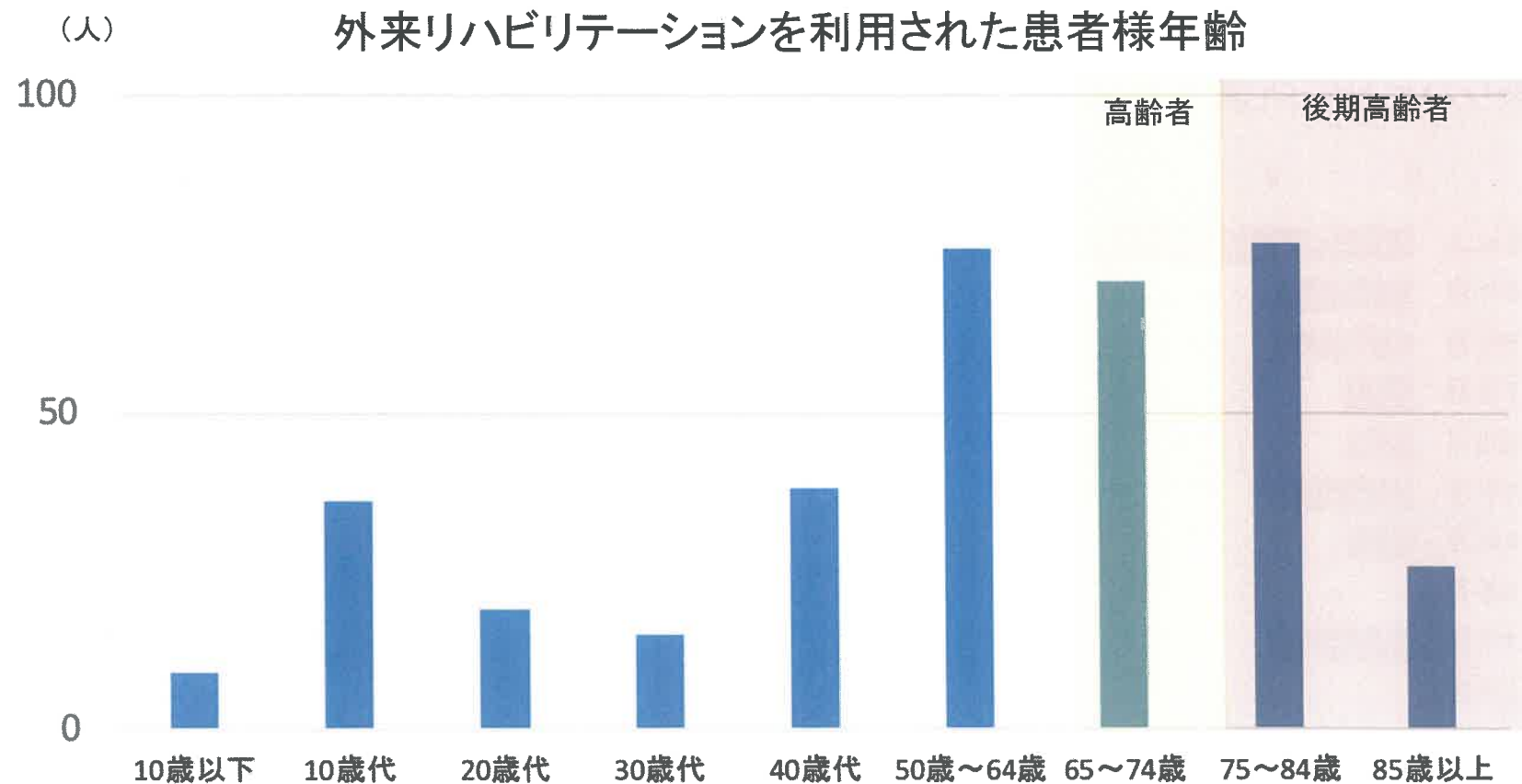
疾患別リハの割合



2018年1月から2019年12月までに外来リハビリテーションを実施した
実績数統計より、主な疾患割合

3. 外来リハビリテーションにおける患者データ（年齢）

50代～80代の方が中心ですが、小児から後期高齢者まで、幅広い年齢層の方が外来リハビリテーションを利用されています。

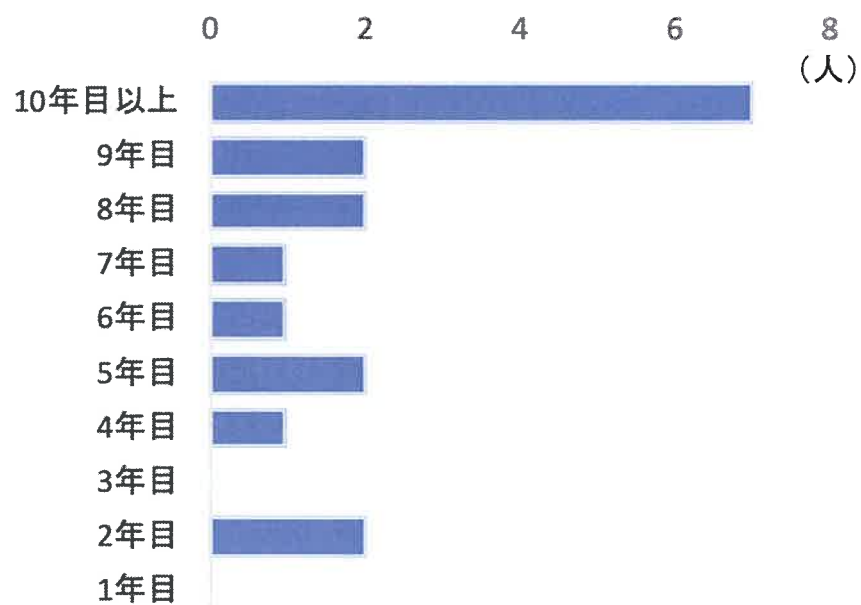


2018年1月～2019年12月までに外来リハビリを受けられた患者様データより

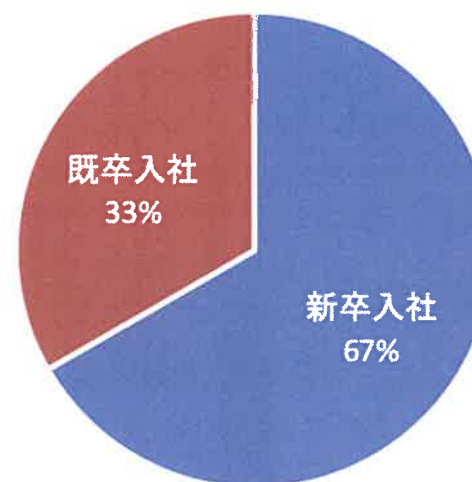
4. 外来リハビリテーション職員構成(経験年数等)

当法人では、新卒職員の採用を積極的に行い、豊富な経験を持った職員が、治療および教育体制の充実を図っております。

外来リハビリに所属するスタッフ経験年数



新卒入社、既卒(転職)入社の割合



2019年7月時点 兼務含むスタッフ数より

5. 治療の特色

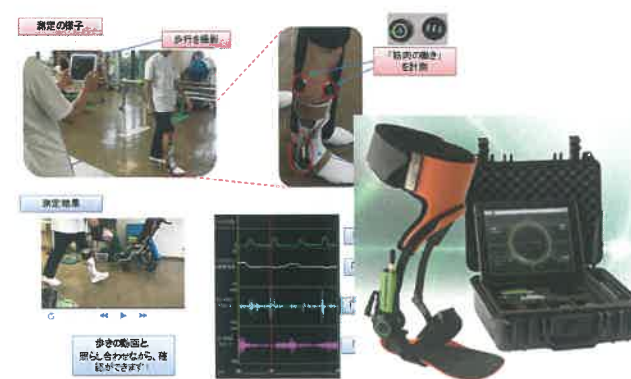
地域のニーズに応じて、脳血管疾患後遺症に対する治療のみならず、運動器リハ、摂食嚥下リハなどの幅広い分野を、医師および多職種と協力しながら提供しております。



痙縮に対するボツリヌス注射療法



IVESを使用した麻痺手集中療法



ゲイトジャッジシステム®を使用した歩行評価

内視鏡による嚥下（飲み込み）検査をおこなっています

飲み込みについて問題のある方を対象にした検査です
先端に直径3mmのカメラの付いた管（内視鏡）を鼻から入れ喉を上から覗くように
食べたものが喉を通る様子を動画で確認します
検査の結果からリハビリや食事形態（大きさ・硬さ・とろみなど）の提案を状態に応じ
行わせていただきます



嚥下内視鏡検査と実施後のST介入



運動器疾患に対する
超音波エコー検査の活用



医師や他部署との密なコミュニケーション

Ⅲ. 教育への取り組み

1. 臨床場面での教育

カンファレンス・症例検討会



カンファレンスは患者の目標や治療を検討する重要な場です。また、治療の進め方、地域におけるリハの在り方を学ぶことができ、教育的な側面からも重要な場と考えています。

当院では、治療効果の記録として動画撮影を利用しています。治療前と介入後の比較など、カンファレンスでその動画を閲覧することでその変化を共有し、治療検証の参考にしています。

バイザー制度・複数担当制



バイザー制度を導入しています。新人職員には、指導者が付き添いながら、日々の業務を行います。

また、一人の患者を複数で担当する複数担当制を導入しています。経験あるセラピストと共にチームを組むことで治療計画や目標設定などを学び、臨床現場で生じた「悩み」をその場で解決できるようにしています。

複数担当制は、スタッフの突発的な休みや、夏休みなどの休暇にも柔軟に対応が可能です。職員の働きやすい環境づくりにも力を入れています。

Ⅲ. 教育への取り組み

2. 研修会・勉強会

院外勉強会、研修会



近隣の医療機関との意見交換会や
合同症例検討会を実施



大学病院等との協同して研究
歩行測定・分析の様子



地域で開催されている勉強会

院内・科内勉強会



法人勉強会
医療安全やハラスメントなど、医療人・
社会人としての知識やスキルを身につけ
ます



デスケースカンファレンス
グリーンケアとして、携わったスタッ
フで患者様を振り返りを行います



科内勉強会
新人症例発表やスキルアップのための
定期的な勉強会で研鑽を積みます

3. 法人内研修制度

地域リハビリテーションを担う、実践的且つ、様々な場面で活躍できるセラピストの育成を目指しています。



リハビリテーション専門職は、様々な場面や疾患に対して常に専門家としての対応が求められます。

涓泉会では、法人内研修制度として、地域リハビリにおける、幅広い視野を持ったセラピストの育成を目的に、外来リハビリ、訪問リハビリ、通所リハビリ(通所介護)等の様々な部門に関わって頂く、スタッフ育成体制を導入しています。



外来リハビリ
疾患別リハビリテーション



高齢者だけでなく小児
様々な疾患への対応



通所リハビリでの
集団マネージメント



訪問リハビリ
生活場面でのリハビリテーション

IV. 職員の声

1. 当院に就職した理由は？



外来や通所リハ、訪問リハ、メディカルフィットネスまで、多方面から地域の方々を支えることができると感じたから。
(理学療法士 1年目 新卒入社)



様々な疾患に対するリハビリを経験したいということを第一に考えました。地域のクリニックで働きたいという希望もあり、この職場に入職しました。(理学療法士 2年目 新卒入社)



基本的なリハビリを丁寧に実施でき、一人ひとりの”言語リハビリ”について集中的に出来ることが魅力だったため。
(言語聴覚士 5年目 既卒入社)



整形疾患から中枢疾患まで幅広く経験を積めると考えたから。新人教育体制が整っていると聞いたため。(理学療法士 3年目 新卒入社)



外来に興味があったため、HANDS療法(電気刺激)を用いた治療をやっているとあったため。
(作業療法士 11年目 既卒入社)



日本・東京におけるCommunity Based Rehabilitationの先駆けともいえる場で、さまざまな患者様を診ることができ、地域連携として小児療育施設との関わりももてるから。
(理学療法士 5年目 新卒入社)

地域の様々なニーズに合わせた、地域密着型のリハビリテーションや介護予防事業を提供しており、自分の目標にいち早く近づくことができると思った。
(理学療法士 1年目 新卒入社)



医療・介護保険サービスを兼務している療法士も多く、知識や見解の偏りなく培える環境と感じた。
(作業療法士 4年目 既卒入社)



外来では珍しい脳卒中のリハビリテーションにも力を入れて行なっていること。リハ室、スタッフの雰囲気良かった。(理学療法士 4年目 新卒入社)



地域密着型のクリニックであり、通所リハや訪問リハなども行なっているため、様々な経験ができると感じたから。(理学療法士 1年目 新卒入社)



医療保険、介護保険、自費と患者様に対して段階的かつ包括的なアプローチができるため。外来でも患者様に対してしっかり向き合える体制があったことが入社理由です。
(理学療法士 7年目 既卒入社)



IV. 職員の声

2. 当院での仕事のやりがい？



先輩療法士と患者様と一緒に担当することで、助言をもらいながら治療を進められる。
(理学療法士 1年目 新卒入社)



基本的なリハビリを丁寧に実施でき、一人ひとりの”言語リハビリ”について集中的に考えられること(言語聴覚士 5年目 既卒入社)



疾患・年齢・回復段階がバラエティーに富み、組織も若く先進的であることです。
(理学療法士 4年目 既卒入社)



リハビリが生活に還元される実感が得られること。(理学療法士 8年目 新卒入社)



患者様の実生活の一部に関わることができる。自分の関わりが実感できること。
(理学療法士 4年目 新卒入社)



治療的な関わりだけでなく、生活期を支えるという関わりも行うことができる。
(作業療法士 4年目 既卒入社)

目の前の患者様や地域の方々のリハビリテーションへのニーズに対して、何ができるのかを日々考え、実際に行動に移すことができる環境があるため、やりがいを感じます。
(理学療法士 1年目 新卒入社)



患者様から日「～ができるようになった。」「～にできるようになった。」と進歩の報告を受けると嬉しいです。(理学療法士 2年目 新卒入社)



患者様の生活に根ざしたリハビリを最後まで実践していけること。(理学療法士 3年目 新卒入社)



様々な疾患、急性期から慢性期、また個人的にも環境的にも色々な背景をお持ちの患者様がいますが、疾患、障害にとらわれず、その人そのもの、その人の生活、生き方自体をサポートできること。まだまだ発展が可能な職場で、日々向上する、前に進む意識で仕事ができる事。
(理学療法士 7年目 既卒入社)



まさに生活場の患者様にリハビリは最後の砦です。常に結果が求められる、厳しいところもありますが、とてもやりがいもある職場です。
(理学療法士 12年目新卒入社)



Ⅳ. 職員の声

3. 入職を検討される方へ



医師、看護師、先輩療法士とも気軽に相談ができるため、1年目からでも外来は不安が少ない環境です。特に地域に興味がある方、是非ともに刺激的な日々を過ごしましょう！

(理学療法士 1年目 新卒入社)



固定した休日を週に2日取得することができます。

(理学療法士 2年目 新卒入社)



他職種との関わりも多く、経験も様々なスタッフが多くいます。お話を聞きに来てください。

(作業療法士 3年目 新卒入社)



リハビリテーション科専門医との距離が近く、丁寧に相談にのってくれます。

(理学療法士 4年目 既卒入社)



病院では決して学べない、患者様の生活に直接関わることができます。

ぜひ、一緒にやりましょう。

(理学療法士 4年目 新卒入社)



自分のやる気次第でどんどん成長できる環境が整っていると思います。じっくり勉強したい方、維持期のリハビリに興味がある方、是非一緒に働きましょう！

(理学療法士 18年目 既卒入社)

外来のリハのみならず、段階的に、通所施設におけるリハや、訪問でのリハなど、地域にしっかり関わることができます。

(理学療法士 3年目 新卒入社)



良い意味で自由な、刺激のある職場です。高い意識を持って、患者さまのために、地域のために、リハ、医療の向上のために一緒に仕事が出来れば嬉しいです。

(理学療法士 7年目 既卒入社)



リハビリ専門医と相談しながらリハビリを進めることができます。

(理学療法士 6年目 既卒入社)



一年間の育児休業後も安心して職場に復帰できます。(作業療法士 7年目 既卒入社)



生活期の患者様でも、わたしたちが関わりをもつことで“変わる”ことが必ずあります。より良く生きるために・・・みんなで模索する日々です。

(理学療法士 5年目 既卒入社)



IV. 職員の声

4. 1年目から外来のクリニックはちょっと心配。。という方へ



新卒で就職したPT(2年目)の声

当初、外来リハビリは、一人の患者様に対して1単位(20分)しかみれなくて、患者様をたくさん見なければならず、臨床経験豊富な方々が働く所というイメージを抱いていました。

実際に就職の見学をしてみて、そんなことは決して無く、その患者様に対して必要な時間(60分必要な方に対しては3単位)でリハビリを提供しているということがわかりました。

また、新卒の療法士でもバイザー制度などの教育制度があるので先輩の指導のもとでしっかりと勉強をしながら、リハビリを提供することができます。

現在は、小児から高齢者まで、幅広い患者様にリハビリを提供できることにやりがいを感じています。



新卒で就職したPT(1年目)の声

外来のリハビリは 20分という限られた時間で、沢山の患者様を治療していくというイメージを持っていました。幸い、当院には先輩が多く、施設見学の際にいろいろ話すことができ、じっくり評価・治療が出来ることがわかり安心しました。 外来リハビリは退院後に在宅生活をして初めて困っていることが出てきたり、まだ機能改善する患者様もいらして、やりがいを感じています。同時に、麻痺等が軽度であっても、生活上で様々なことに困っている患者様には、より細かい評価・治療の検討が必要だと感じています。

また、介護保険サービスでは、ケアマネジャーさんとサービスの相談をしたり、利用者様の実際の生活の場で、問題を解決していく事が魅力と感じています。

IV. 職員の声

外来リハスタッフの一日の流れ



電子カルテでスケジュール
前回記録を確認



通所リハ(介護保険)
業務を兼務



リハ医・先輩スタッフとケー
スについてのカンファレンス



電子カルテで記録
明日の予定を確認



ADL練習からスタート



担当患者様の
ボトックス注射に立ち会い



臨床の合間にリハ医へ相
談



V. 短時間通所リハビリテーション

1. 短時間通所リハビリテーションのご紹介

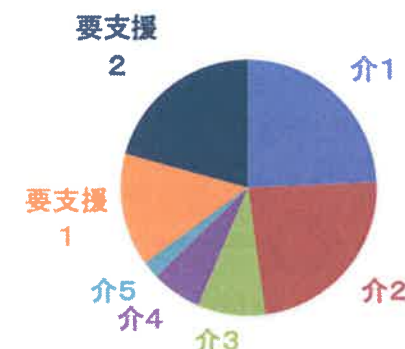


職員数

理学療法士 2名
作業療法士 4名(兼務含)
言語聴覚士 1名(兼務含)
ケアスタッフ 6名
ドライバー 3名

登録人数 148名

介護度割合グラフ



短時間通所リハビリの特色とその役割

大田区でも数少ない、短時間型の通所リハビリテーションです。リハビリ専門職が多く関わり、利用者様の目標達成を支援しています。

当院の通所リハビリは1時間以上2時間未満という短時間で行われています。

リハビリテーション専門医の指示に基づき、PT・OT・STがご利用者のアセスメントを行ない、ご利用者様のための最適なリハビリテーションを提案いたします。

また、積極的にご利用者の自宅に伺い、環境設定や生活上のアドバイスをを行います。

さらに、サービス担当者会議への参加など、他職種連携を行いながらご利用者の目標達成を支援しています。

VI. 訪問リハビリテーション

1. 訪問リハビリテーションのご紹介



訪問リハビリテーションの特色とその役割

「活動」と「参加」の向上に向けて多職種協働でのアプローチを行っています。

主に回復期や生活期におけるリハビリテーションを提供しております。近隣の医療機関との連携を図り、退院後に必要とされる機能回復のアプローチや、実生活の場面で必要とされるADL, IADLの獲得、社会復帰や職業復帰を目的とするリハビリテーションを主に提供し、対象者や家族のQOLの向上をめざします。

また、ケアマネジャーを始めとした多職種や家族と協働し、住宅改修や福祉機器などの利用の提案、介助方法のアドバイスも行います。

当クリニックでは、電動自転車もしくは3輪バイクで訪問しています。

職員数 (R2. 7現在)

リハビリテーション科医	3名
理学療法士	9名 (兼務含)
作業療法士	3名 (兼務含)
言語聴覚士	2名 (兼務含)
相談員	1名
事務員	2名

教育・研修制度について

✓ 月1回の勉強会開催(業務時間内)

✓ 『訪問リハビリテーション実務者研修会』『訪問リハビリテーション
管理者養成研修会』への業務参加

※『訪問リハビリテーション従事者のための人材育成ガイドライン』(公益社団法人 日本理学療法士協会 一般社団法人 日本作業療法士協会 一般社団法人 日本言語聴覚士協会) に沿った人材育成を実施しています。

VII. その他の活動

1. ライフワークバランス、スタッフ自らが「より良く生きるを」実践できる職場づくり

職員が「より良く生きる」を実践することが大切と考えています。



毎年恒例 新年会からスタート！

患者様や利用者様に「より良く生きる」ための医療・介護・保険・福祉サービスを提供します。

そのためには、職員自らが「より良く生きる」を実践することが大切と考えます。

業務だけではなく、生活を充実させることが出来る職場、ライフワークバランスが実践できる職場づくりを目指しています。子育てや介護、働きながらの進学など、職員それぞれのニーズに応じて、法人全体でサポートをしています。

また、法人内の行事や東京マラソンへの挑戦、部活動など、生活の質を充実させるための様々な活動を行っています。

育休復帰率100%！

※2019年7月現在



子育てや進学など職員それぞれのニーズに応じてサポート



様々なスポーツを行う運動部



院長をはじめスタッフも毎年東京マラソンに挑戦！



地域のお祭りにも参加

関連施設



1. ジップ・山王リハビリ(介護保険)

一日滞在型通所介護施設です。運動や口腔ケア、レクリエーションなどを行なっています。介護度が高い方もご利用いただいております。セラピストは、利用者の評価や運動メニュー等の作成、ケアスタッフの教育や指導を中心に行っています。



2. 健康増進施設 ウェルネスジム山王 (医療法42条施設)

健康増進、疾病予防の観点に基づく運動や栄養指導を中心とした予防的アプローチを実践しています。

月会費制の自費サービスとなっており、医療リハビリテーションが終了した患者様が中心に使用し、その後の健康維持・改善を目的として利用されています。

関連施設



3. 山王リハビリ訪問看護ステーション(医療保険・介護保険) * 大森山王地区

山王リハビリ訪問看護ステーション・サテライト東雪谷

訪問看護ステーションには、看護師8名(うち2名非常勤)、相談員1名が勤務しています。大田区を中心に、品川区南部や世田谷区の一部の地域まで、訪問診療医や訪問リハビリと連携を取りながら、亜急性期から看取りまでの訪問看護を提供しています。



4. 山王リハビリステーション(介護保険)

短時間(3時間～5時間)滞在型の通所介護施設です。山王リハビリステーションでは、要介護者が主体に利用しています。獲得された能力の維持と向上を図り、状態悪化、再発を防ぎ、利用者様が楽しく、生活できる支援を行なっています。

アクセス

東京都大田区山王三丁目45-3 山王ヒルズ401
(JR大森駅より徒歩約15分)

* サテライト東雪谷はクリニック参照

「より良く生きるために」を共に実現する仲間を募集しています。

就職を希望される方へ お気軽にご連絡ください。



法人内サービスを併用する患者様の
担当療法士が集まる定例カンファレンス

地域に住む誰もが安心して、尊厳ある自立した生活を過ごせるように、
リハビリテーション医学を基盤として、

「より良く生きるために」を理念に、医療、介護、予防サービスを
チーム一丸となって提供し続けていきたいと考えております。

当院の活動に興味を持って頂いた方、就職をご検討される理学療法士、
作業療法士、言語聴覚士の方はお気軽にご連絡ください。

いつでも施設見学可能です。

ご質問や見学のご希望などございましたらお気軽にご連絡ください。

03-5754-2672 担当 望月(モチヅキ)



お問い合わせ
QRコード

